

「あせらずたっぷり」と

お子さんとのふれあいやじゃれあう遊びで、赤ちゃんが生まれてか1年間、ママやパパそして、ばあばやじいじが、「いないいないばあー」「あっぷっぷー」「あばばばばー」とまだ会話のできない赤ちゃんをあやします。すると、赤ちゃんは、ご機嫌にケラケラと笑うでしょう。これはとても意味のあることで、このやり取りはお子さんの愛嬌を育てます。愛嬌は、にこやか、あいらしいという意味で、子どもはまさしく愛嬌そのものですが、そうしたあやす遊愛嬌やユーモアを育て、人とのつかかわりの中で役に立つというのです。これをきいたお母さんが、「あー、うちの子もう3歳だからおそいかなあ」とがっかりされていたのですが、いえいえ遅くはありません。3歳でも5歳でもお子さんと向き合ってにらめっこ遊びや、くすぐり遊び、クスッと笑いそうになる遊び、親子がふれあう遊びの中で、そういった愛嬌は育ちます。親子でじゃれあって遊べるのは今しかないですよとお話したことがあります。

1歳2歳くらいの頃は、ジブンデジブンデ!の時期ですね。服を着るのも、靴を履くのも手を出さうものなら「ダメー」とかんしゃくを起こしたり・・・時間ない時はちょっと困ったりもしますが、子どもがしたいという気持ちを受け止めて、ちょっと待ってあげることも大事な時期です。そして、できないこともまだまだたくさんある中で「できたねー、こうしてごらん、もうちょっとだね。」など、そば見守り励ましてくれる存在があることがとても重要です。実は、どちらかという、できなかつたり失敗した時こそ、「がんばったね」「だいじょうぶ」と、そのままを受けとめてもらう経験こそ、自信のある子が育つのだと言います。できなくても大丈夫な自分なんだという根底的な自信が自己肯定感になります。お馴染みのディズニーの「アナと雪の女王」の主題歌「レット・イットゴー～ありのまままで～」の「ありのままの姿みせ・・・ありのままの自分になる・・・」ということばにとっても勇気づけられます。お子さんの自信ややる気を育てるためには、私たち大人はあせらずありのままのお子さんを、しっかり受け止めてあげることがとても大切です。

可能性に満ちた子どもたちの今を、私たち大人があたたかな目でしっかり向き合い、あせらずたっぷり愛情をそそいであげられるよう、ゆったりとすごしていけるといいですね。

なでしここども園園長 藤巻真由美
第2なでしここども園園長 鈴木 真理
クレイシュ保育園園長 小清水幸子

3月聖句

主よ、あなたの道をお教ください。

詩編86篇11節

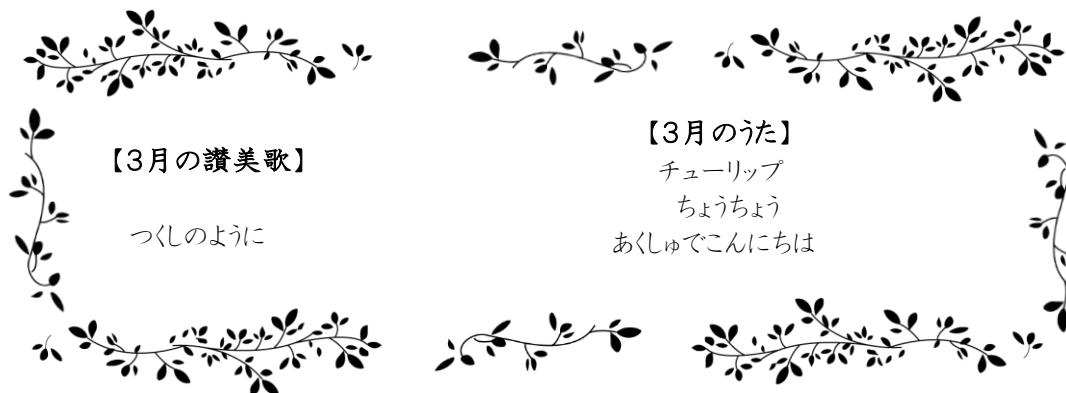
3月主題

「おおきくなったね」0・1・2歳

- ・神さまからいただいた存在として大切にされる。・保育者の姿やこばを通して神さまと出会う。
- ・一人ひとりの生活リズムや発達段階を大切にされて過ごす。・新しい環境や友だちに出会う。
- ・おだやかでやさしいこばをかけられ、満たされて過ごす。・自分らしさを受け入れられ、安心して過ごす。

～子どもたちの姿～

春風の心地よい季節となりました。子どもたちは新しい友達に関心を持ち「はい、どうぞ」と玩具を手渡したり、泣いていると「お腹が空いているのかな?」「大丈夫?」と顔を覗きこむ様子が見られます。外遊びでは、ハイハイで友だちと追いかけてこをしたり、つかまり立ちから伝い歩きをしたり時には子ども同士で向かい合い何やら楽しそうに声を発し笑い合っている姿も見られます。異年齢の活動の中で友だちを想う心が育まれたり、自分も同じようにやってみたい!と思う気持ちなど刺激し合いながら興味、関心の幅を広げていっているように感じます。一人ひとりの発達に応じた遊びや生活の中で、豊かな体験がたくさんできるよう寄り添っていききたいと思います。



	月	火	水	木	金	土	日
3月の予定表					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11 身体測定	12	13	14	15	16	17
	18	19	20 春分の日	21 避難訓練	22	23	24
	25 誕生日会	26	27	28	29 クレイシュ通信	30	31
	◎名前が薄くなってしまっている物がありますので、もう一度持ち物の名前の確認をお願いいたします。						
	◎進級に向けて心配事などありましたら、ご相談ください。						